

# 初めての議会報告会開催

「いよいよ始まる議会改革」

大村市議会議会報告会がさる2月1日コミュニティセンターで市民191人を前に行われました。その様子を報告します。

## 報告報告会の概要

- 1・各常任委員会からの説明
- ①総務委員会  
職員給与、バス路線について
- ②厚生委員会  
市立病院、福祉医療について
- ③経済文教委員会  
競艇事業、企業誘致について
- ④建設環境委員会  
水道料金の値上げについて

- 2・市民からの発言(抜粋)
- ・コミュニティバスの導入にあたっては、市街地活性化等総合的な面を考慮し、実現を図ってほしい。
- ・市立病院の公設民営化等、重要な件は、公聴会を開いて市民の声を十分聞いて決めて頂きたい。
- ・水道料金の設定は、市民にとってどれだけ公平が行きわたっているのかということを考慮し、設定してほしい。



意見交換が行われた議会報告会

・市立病院については、少子化時代に産婦人科と小児科、これを併設する総合病院の機能を維持して頂きたい。

・行政の言う報告を市民に連絡するだけでは、議会活動の活性化という意味をなしていない。

・新幹線で莫大な金を使うのなら、なぜもっと生活道路を整備出来ないのか。

・政治というのは、今をしつかり見極めて、将来どうあるべきかという姿を追求していくことだと思うので、議員の方も十分考えて頑張ってください。

### 3・アンケートからの声

- ・議員の真剣さが伝わった。市民の思いをもっとよく聞いて、市政の将来につなげてほしい。
- ・議員の方には、もっと積極的に勉強して頂き、活発な議論を期待したい。
- ・非常に良い機会だったと思います。若い世代も積極的に参加できる場になればと思います。
- ・市長の成果報告をしてもらっても仕方がない。議会の成果を出してほしい。年度末には、議会の10大ニュースを出してほしい。
- ・議会から市民への具体的要望を提唱してほしい。事後報告のみでなく、手前の議論をしてはどうか。
- ・市が実施するタウンミーティングと議会版タウンミーティング、どちらも市民との対話であるが、どう差別化していくのか。
- ・全ての事柄に、なぜそうなったのかという説明が少ない。

### 3月定例会の会期日程

現在のところ2月28日(木)から3月21日(金)までの予定です。

決定後、市役所玄関前及び議会ホームページでお知らせします。

## 編集後記

間接民主制とは、「選挙等のある一定の方法によって代表者を選出し、自らの権力行使をその代表に信託することで政治に参加し、その意思を反映させる政治制度をさす。」と辞書にある。市民と市議会とは同じ立場で行政に対しては、議会VS行政の構図は、言い換えれば市民VS行政ということになる。

議会報告会を開催する前に、ある町内会長から、「市への意見と議会への意見を混同している人が多いため、收拾がつかなくなるのではないか。」と心配の声があった。会では、確かに市民VS議会との構図を思わせるような場面が感じられたが、これは議会の機能や委員会の役割を市民へ伝えていなかった議会の責任でもある。

議長は報告会の冒頭、議会は進化していると挨拶した。この言葉をしっかりと意識し、皆さんの意見を背に受け、行政に相対したい。(田中秀和)

### 議会報編集委員会

- 久野正義・永石賢二・神近 寛
- 馬場重雄・田中秀和・園田裕史
- 中瀬昭隆・村崎浩史・松崎鈴子